

平成 26 年度以前入学者

平成 30 年 3 月 27 日
教養学部前期課程

総合科目の構成及び授業内容概要等の変更について

平成 30 年度より、総合科目について、3 科目が新設されるとともに、1 科目が廃止となります。また、開講予定セメスター・タームが変更される科目があります。詳細は下表のとおりです。(下線部が変更点)

記

区分	系列	大科目名	科目名	科目の授業内容	開講予定 セメスター・ターム	単位数
変更	L	古典語	古典語初級 I	(変更なし・省略)	<u>S/A</u> S	2
変更	L	古典語	古典語初級 II	(変更なし・省略)	<u>S/A</u> A	2
新設	A	言語とテキストの科学	<u>言語文化論</u>	<u>様々な言語現象や言語に関する社会的・文化的事象を扱い、人間の思考・認識のあり方や言語文化について考察する。</u>	<u>S/S1/S2/A/A1/A2</u> (注 1)	<u>1</u> または <u>2</u>
変更	C	教育科学	<u>教育実践・政策学入門</u> <u>教育社会科学</u>	(変更なし・省略)	A2 (注 2)	2
廃止	D	医学・健康科学	人間総合科学(医学概論) ※平成 30 年度から廃止	(省略)	S1	1
新設	D	心身発達科学	<u>臨床心理学概論</u>	<u>国家資格となった公認心理師の基本となる臨床心理学について、生物・心理・社会モデルに基づき、その実践や研究の知識や技能について幅広く学ぶことを目的とする。</u>	<u>S</u> (注 3)	<u>2</u>

新設	E	物質科学	<u>超分子化学</u>	<u>超分子とは、分子間相互作用(非共有結合)により秩序だって集合した分子のことである。このような分子間相互作用は、分子骨格を形成する化学結合(共有結合)に比べてとても弱い、生命系の複雑な仕組みと深く関わり、秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している。本授業では、ほぼ全ての分子間相互作用を扱い、さらに分子間相互作用の理解を深めるため、分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う。【理科生2年生対象】</u>	<u>S</u> (2年次) (注4)	<u>2</u>
変更	F	情報学	アルゴリズム入門	コンピュータによる問題解決の原理と実際とをプログラミングを通じて学習する。 【 <u>Aセメスターのみ</u> 1年理科生はクラス指定】	<u>S/A</u>	2
変更	F	情報学	計算機システム概論	情報処理の基盤をなす諸要素について、その構成や基本原理を多面的に学ぶ。これを通し、情報科学技術や情報システムの基礎について理解する。 【 <u>S1</u> <u>に開講する場合は</u> 週2コマで2単位】	<u>S1/S/A</u>	2
変更	F	情報学	計算の理論	(変更なし・省略)	<u>S/A</u>	2

(注1) 平成26年度以前入学者も履修可能であり。平成30年度以降に履修した場合は「思想・芸術一般」として扱う。

(注2) 総合科目C系列「教育社会科学」は「教育実践・政策学入門」に名称が変更される。平成29年度以前に「教育社会科学」を履修し単位を取得したものが、「教育実践・政策学入門」を履修することは認められない。なお、平成30年度以降に履修した場合は「社会・制度一般」として扱う。

(注3) 平成26年度以前入学者も履修可能であり。平成30年度以降に履修した場合は「人間・環境一般」として扱う。

(注4) 入学年次に関わらず、2年次の履修が可能となる。履修した場合には「超分子化学」として成績表に記載される。

以上